



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2009 - 2010 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
R.I. 会長 John Kenny

2580 地区テーマ 「ロータリーの未来はあなたの手の中に」
地区ガバナー 多田 宏

クラブテーマ 「感謝の心で行動を」
クラブ会長 小林 雅純

本日の卓話

「歌のボランティア」
「上原瑞枝とマーガレットの会」の皆様 紹介者 上原洋一君

今後の卓話予定

6/23 今年度事業報告 幹事 古谷輝彦君
6/30 会長・幹事「1年を振り返って」
会長 小林雅純君・幹事 古谷輝彦君

2010年6月16日

第1179回例会

会長 小林 雅純
幹事 古谷 輝彦

前回 (6/9 1178 回例会) の記録

来訪者紹介 (1178 回例会)

◆ゲスト 1名 有限会社 フォルムSKR 代表取締役 川上玲子 様
◆ビジター 2名 東京足立RC 佐藤清隆 様・東京浅草RC 鈴木勝也 様

出席報告 (1178 回例会)

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
45名	1名	2名	34名	8名	80.95%	1176 回例会修正 欠席 8名・出席率 80.95%

会長報告 <小林会長>

- ・ 6月3日 京王プラザホテル：2010年規定審議会の報告会に出席してきました。又、その時、多田ガバナーより口蹄疫被害救済支援金のお願いがありました。現在の被災地は、200ヶ所、殺処分対象は30万頭と甚大な被害を受ける事態となっております。
- ・ 6月4日 東京ドームホテル：新旧会長・幹事会が開催されました。
- ・ 伊勢神宮正式参拝についての打ち合わせを本日行います。上野RC会長、阿部さんより伊勢神官に、浅草中央RCのことを連絡しておく、お話がありました。

幹事報告 <古谷幹事>

- ・ 6月23日例会は今年度事業報告です。事業報告書をまだ提出していない委員会は早急に提出して下さい。当日委員長が欠席の場合代理の方をお願いします。



「北欧の豊かな暮らしとは…幼児期に培われる感性」



有限会社 フォルム SKR 代表取締役

川 上 玲 子 様

紹介者 長 堀 映 司 君

1963年に仕事の関係もあり、北欧の中でも行くとしたらスウェーデンしかないと思い定めて留学しました。日本では消費税と言うと、高い税金を取られると言うイメージがありますが、スウェーデンでは消費税は25%ですが、納税と言うと高い税金を取られるというイメージではなく、銀行に自分の金は無いが、国が金を預かってくれると言う感覚です。スウェーデンでは50代からリタイアする人も沢山いますが、贅沢と言う事ではなく、そこには真の豊かさがあります。そして、この生き方こそがデザインにも繋がって来るものと思います。

1800年代後半から1900年代初頭までに活躍したスウェーデンの女性社会運動家また幼児教育家でもあるエレン・ケイの言葉に「全ての人に美を与えましょう。全ての人美しく生活する権利がある。自然を大切に、美しく豊かに生活するには如何したら良いか？」と有りますが、この言葉の中にスウェーデンの発想の原点があるように思います。町並みの中の花壇の色合い、野菜売場の陳列棚の彩り、ショーケースの中のモノトーンな飾りつけ、町中の隅々に至るまで、洗練された気配りが行き届いています。特に冬は町中が白の世界に変身します。-20℃ですが、寒いと言うよりも冷たいと言う感じで冬になると町の中が綺麗だなーと思います。幼い子は頭で考えるのではなく、実体験の中で豊かな情操を育まれながら育っていくと言う環境になっています。例えば小学校の父兄会に出た時の事、夜7時からの父兄会では丸テーブルを囲みコーヒーを飲みながらテーブルにはキャンドルが灯っていると言う、日本の父兄会には無いロマンティックな雰囲気の中での父兄会でした。そして、生活のあらゆる局面でローソクのない生活は考えられないという、豊かな時間の中で子供たちは育っていきます。北欧のイメージは白一色徹底したモノトーンで、全てにデザインが優れています。子供の物でもシンプル過ぎる位で、無駄なものは省くと言う精神に溢れています。そして、自然のものは美しい、自然はアートであると言う考えに徹しています。

日本では、別荘を持つことは一部の人に限られていますが、スウェーデンではごく普通の事で、週末はサマーハウスで過ごすと言うことが当たり前の事です。それは、贅沢と言う事ではなく、日常は近代的な町の中で過ごし、週末はサマーハウスで自然の素晴らしさ、大切さを学びながら、あえて不便な環境で原始的な生活を経験することにより全てへの感謝を学ぶと言うことですが、今の日本の若者は、水洗便所が無いと言うことだけで、耐えられないようです。

いずれにせよ、スウェーデンはデザインの国でもあり、町中がアートで溢れています。地下鉄の駅は一つ一つがミュージアムになっており、このような環境の中で子供たちが育っていくのです。生産者側も、ただ売れるものを作ると言う発想ではなく、色彩の基本に則ったものを作り出していくと言うことですので、デザイン感覚のない人でも町で売っている物を買ってきて家の中に飾れば、美しく見えるというお国柄です。

ニコニコボックス

<小林会長、古谷幹事>

- ・川上玲子様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

<原田、藤田>

- ・川上玲子様、本日の卓話「北欧の豊かな暮らしとは…幼児期に培われる感性」を楽しみにしております。

<長堀>

- ・本日卓話をしていただく川上玲子様をご紹介いたします。

<藤掛>

- ・鳥越神社の祭礼が無事執り行われました。好天に恵まれ、最高のお祭りでした。体の節々が今日から痛み出して来ました。年のせい？

<小林会長>

- ・年間100%出席の表彰をいただきまして、誠にありがとうございました。

鳩山総理・小沢幹事長のダブル辞任から1週間！　そこで1曲歌うニコニコ・惜別の歌

「啼くな小鳩よ」

♪啼くな小鳩よ　政権ツートップ
なまじ啼かれりゃ　未練が絡む
政治と金にケジメをつけて
清く生きろよ　男なら

作詞・歌唱　笹生淡水



お勧めの一冊

「永遠のゼロ」

百田尚樹 著 講談社文庫

2009年最高に面白い本大賞、文庫・文芸部門、第1位
久しぶりに本を読んで泣けて泣けて、滂沱と流れ落ちる涙に頬を濡らしました。
「ただひたすら、全ての責任を他人に押し付けようとする、総クレイマー化する昨今の日本。利己主義が堂々と罷り通る現代日本を考える時、太平洋戦争中に宮部久蔵のたった行動はどう評価されるのだろうか。男が女を愛する心と責任。男らしさとは何なのか。宮部久蔵を通して様々な問いかけが聞こえてくる。
特攻で散華した宮部久蔵26歳、彼の生きた足跡を辿る孫の健太郎も同じく26歳。日々死と対峙し、愛する者のために生き残りを掛けたパイロットとして史上空前の大空の戦いに挑んだ宮部久蔵と、やむを得ずとは言うもののニートとして無為な生活を送る現代の健太郎をリンクさせた壮大なロマンは、抱きしめたくなるような宮部久蔵への愛しさを覚える中で、人間とは、戦争とは、何なのかを痛切に考えさせられる筆者渾身のデビュー作となっている。」(児玉清氏評)